

登録No.
登録名
催吐性リスク
適応疾患
投与スケジュール

S-131
PHESGO療法
最小度
大腸癌

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	フェスゴ	初回 IN/body 2回目以降 MA/body		d1	S.C	初回8min以上 2回目以5min以上	初回は30分間経過観察 忍容性良好なら2回目以降15分経過観察 大腿部のみに投与。前回の部位から少なくとも2.5cm離れた場所に投与

1クールの間
その他
(副作用・PS規定等)

3週間

注意： Phesgoが前回の投与日から6週間以上空いた時は、改めて初回投与量で投与。
RAS変異陽性の患者に対する有効性、安全性は確立していない。
フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤、オキサリプラチン及びイリノテカンによる治療歴のない患者における
本剤の有効性及び安全性は確立していない。

副作用： Infusion reaction、心障害、間質性肺疾患、肺障害、血液毒性、腫瘍崩壊症候群、下痢など

中止基準： LVEF $\geq$ 50%でベースラインからのLVEF低下 $\leq$ 20%→投与継続
LVEF $\geq$ 50%でベースラインからのLVEF低下 $>$ 20%→投与継続（3週間以内にLVEF再評価）
LVE $<$ 50%でベースラインからのLVEF低下 $<$ 10%→投与継続（3週間以内にLVEF再評価）
LVE $<$ 50%でベースラインからのLVEF低下 $\geq$ 10%→投与延期（3週間以内にLVEF再評価）
→再評価後LVE $<$ 50%でベースラインからのLVEF低下 $\geq$ 10%→中止
再評価後LVE $\geq$ 50%でベースラインからのLVEF低下 $<$ 10%→投与再開